

# 篠養だより



「夢と希望を抱き 心豊かに たくましく生きる子の育成 ～ 明るく いきいきと ～」  
◇丹波篠山市立篠山養護学校 ◇丹波篠山市沢田120-1 ◇tel 552-5237 ◇fax 552-6222  
幼稚部0名 小学部21名 中学部12名 高等部14名 計47名 早期発達支援室2名 総計49名 No.11

## “一日の始まり” から ～ “チームささよう” で頑張ります！～

朝6時40分、まだ薄暗い廊下に「おはようございます」の元気な声が響く。スクールバスの運転手さんが、職員室に「キー」を取りに来られるのだ。

7時過ぎには添乗員さん(5名)が集合し、そこに運転手の代表者が加わって、運行前のプチミーティングが始まる。もちろん、学校も加わって。今日乗車する子どもの確認、健康状態の把握、バス内での友人関係など、短時間だが、互いに持ち合わせている情報を出し合い、それぞれが必要な情報をインプットしていく。

この運行前のプチミーティングによって、運転手、添乗員、学校が情報を共有し、子どもたちの安全安心な登校の実現をめざす。その後も、運転手、添乗員による最終打合せ、入念なるバス点検が行われ、7時15分にスクールバスが出発する。子どもたちを迎えに。

はっぴい、ステップ、ドリーム、たんぽぽ、ライオン(全てバスの名称)、子どもたちを乗せた5台のスクールバスが本校に向ってくる。

(到着5分前)8時40分になると、職朝を終えた職員が玄関付近に集まり、子どもたちを迎える準備を始める。

8時45分、バスが到着し、5台の車庫入れが完了すると、担当の合図でバスのドアが開く……やいなや、子どもたちが一斉に玄関に駆け込んでくる。それを待ち構えていたかのように職員が歩み寄り、一人一人と朝のあいさつを交わす。

玄関付近の人口密度が一気に上昇し、一転して校内がにぎやかになる。

当たり前前の光景。

篠養の一日は、この当たり前前の光景(子どもたちと職員との出会い)から始まる。

私は、この光景をいつも玄関口の少し奥まったところから **子どもたちの登校を待つ職員(玄関)** 見ているのだが、……職員が子どもたちに歩み寄る瞬間、子どもたちと職員とのファーストコンタクトの瞬間が、私が一日の中で、最も大好きな瞬間である。

「いってらっしゃい。」「今日もがんばってね。」

多くの職員が見守る中、子どもたちは毎日力強く教室へと向かっていく。



二学期の終業式に、子どもたちが登校するまでの、篠養の“一日の始まり”を紹介しました。スクールバスの運転手さんも、添乗員さんも、子どもたちに関わる全ての職員(総勢65名)は、皆“チームささよう”の一員です。それぞれが、それぞれの持ち場で自分の役割を果たし、協働してこそ、安全で安心な学校生活が実現できるのです。

改めてこの一年を振り返ると、やはり、コロナの影響を色濃く受けた一年でした。そして、“当たり前を維持していくことの難しさ”、その“当たり前を積み重ねていくことの難しさ”を実感した一年でもありました。

そんなコロナ禍にあって、本校の教育活動にご理解とご協力をいただいた、保護者、地域の皆様にご心より感謝申し上げます。

令和5年が皆様にとって素晴らしい年になりますことを祈念するとともに、1月10日(火)の3学期の始業式に、明るく元気な子どもたちに会えることを楽しみにしています。

## 強みは縦のつながり！～高等部の皆さん、伝統の継承をありがとう！～

先週末の12月16日(金)に、高等部主催の、「サンタがささようにやってきた！(クリスマス会)」を実施しました。高等部の生徒がサンタやトナカイに扮し、自分たちが企画したクリスマス会に、後輩たち(早期発達支援室や小・中学部の児童生徒たち)を招待し、楽しんでもらおうという企画で、毎年生活単元学習の一環として取り組んでいます。聞けば、もう20年近く続く“伝統行事”になっているようです。

本校には、幼稚部(現在在籍なし)、小学部、中学部、高等部の4つの学部に加え、施設内に早期発達支援室が設置されており、下は4歳から上は18歳(成人)まで、年齢差が14歳もある子どもたちが、同じ学び舎で生活をしています。

今年の「サンタがささようにやってきた！(クリスマス会)」は、コロナ禍ということもあり、全校生が3つのグループ(縦割り班)に分かれ、高等部のリーダーがそれぞれのグループで催し物を披露しました。

「記念撮影」「絵本の読み聞かせ」、サンタやトナカイからの「お菓子のプレゼント」もあって、後輩たちは大喜びでした。

縦のつながりの感じられる、篠養ならではのこのクリスマス会は、職員にもほっこりと温かい気持ちをプレゼントしてくれました。高等部の皆さん、全校生のために、早くから企画・準備をしてくれてありがとう。そして、篠養の伝統を引き継いでくれてありがとう。後輩たちは、皆さんの姿を決して忘れません。



催し物に参加するお兄ちゃんサンタと幼児

## 第十八回みんなのアート展(兵庫県特別支援学校等作品展) 出品

毎年12月初旬に、県内の特別支援学校に通う子どもたちが制作した絵画や彫刻、書道作品などのアート作品を展示する「みんなのアート展(県特別支援学校等作品展)」が開催されています。

神戸市での開催となるため、保護者や地域の皆様に十分お伝えできていなかったのですが、毎年本校からも作品を出品しています。

今年は、全校生による共同作品「Joyful Flower」を出品し、兵庫県教育委員会から取組を高く評価していただきました。

今年の皆さんの活躍と成長を象徴する作品でしたので紹介させていただきます。



兵庫県教育委員会からの表彰

## 同窓会・たんぽぽ会中止のお知らせ！

さて、夏に予定していた篠山養護学校「同窓会」を延期し、「たんぽぽ会」と合わせて1月末に実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染が再び拡大傾向にあることから、同窓会長様とも相談し、今年度につきましても、昨年同様、中止させていただくことにしました。

卒業生の皆様からは、「楽しみにしている」との声も多くいただいており、誠に残念ではございますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。一日も早く感染が終息し、皆様とお出合いできることを楽しみにしています。



## 本校の藤原直美栄養教諭がテレビに出演！

この度、本校所属(東部学校給食センター勤務)の藤原直美栄養教諭が、丹波篠山市の特産物を活用した学校給食を多くの人に知ってもらいたいとの思いから、朝日放送テレビ番組「おはよう朝日です」の「コロコロレストラン」に出演します。放送予定日は、令和5年1月6日のテレビ番組内です。ぜひ、ご覧ください。



先日のXmas献立

## 新型コロナウイルス感染拡大防止について

既に“ささようメール”にてお伝えしていますが、学期末のこの時期にきて、また新型コロナウイルスの感染が広がっています。本校においても12/20(火)より中学部を閉鎖し、感染防止に努めているところです。保護者・地域の皆様には、感染対策等にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。明日から冬休みに入りますが、体調管理には十分ご留意いただき、健康にお過ごしください。